

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

北多摩西部の状況

<H27報告とH26報告の比較>

・この区域では年度間でほとんど変動がないが、東京都全域で見ると、高度急性期機能はH26年31,000床強がH27年では約23,500床で、約7,500床減

<H27報告の特徴>

- ・高度急性期機能を選択した病床の約9割が一般病棟7対1入院基本料を届け出
- ・急性期機能の稼働率は都平均より低く、平均在院日数は都平均よりやや長い
- ・慢性期機能の稼働率は都平均より高く、平均在院日数は都平均より短い

<H27報告と将来推計>

- ・高度急性期機能を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は1,077床
- ・将来(2025年)の患者数は高度急性期機能相当(3,000点以上)で446人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は595床
- ・但し、左記のとおりそのまま比較できるものではなく、約500床減らさなければいけないという見方ではないことに留意

・そのままの比較は困難だが、将来推計において回復期機能が病床全体の30.0%を占めるのに対し、自己申告の値は11.1%とかなりのひらきがある。

・こうしたデータを参考にしながら、北多摩西部において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

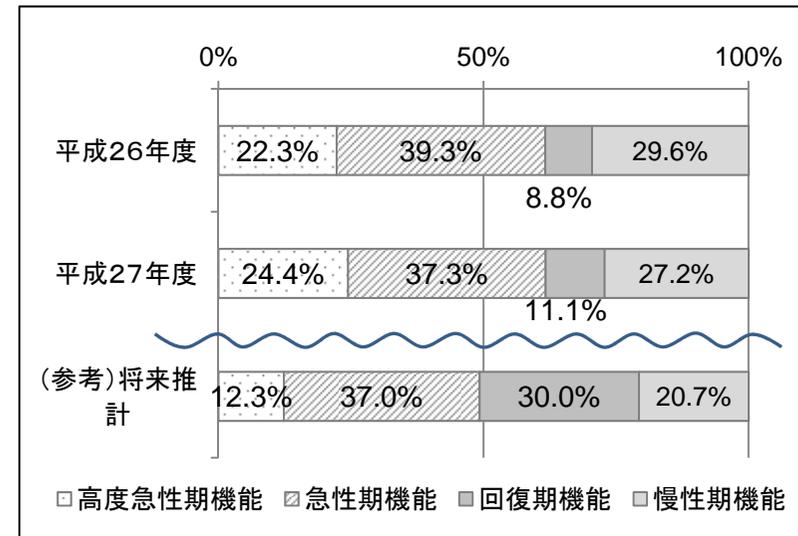
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度 報告結果	1,009床 22.3%	1,782床 39.3%	400床 8.8%	1,339床 29.6%	4,530床 100.0%
平成27年度 報告結果	1,077床 24.4%	1,642床 37.3%	491床 11.1%	1,198床 27.2%	4,408床 100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

(参考) 将来 推計	患者数	446人	1,394人	1,308人	921人	4,069人
	病床数	595床 12.3%	1,787床 37.0%	1,453床 30.0%	1,001床 20.7%	4,836床 100.0%
2013年 推計足元	病床数	484.2床	1,399.7床	1,078.3床	1,247.8床	4,210.0床

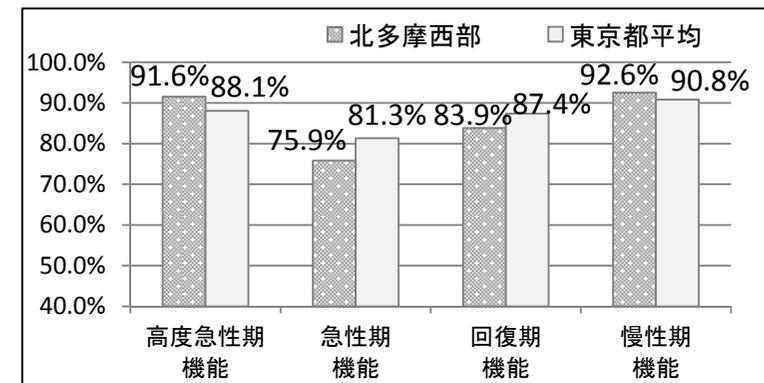


<データ2> 4機能と入院基本料

(床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1	一般病棟7対1入院基本料 953	一般病棟10対1入院基本料 696	回復期リハビリテーション病棟入院料 306	療養病棟入院基本料 845
2	ハイケアユニット入院医療管理料 47	一般病棟7対1入院基本料 556	地域包括ケア病棟入院料/入院医療管理料 86	障害者施設等入院基本料 272
3	救命救急入院料 34	有床診療所入院基本料 95	障害者施設等入院基本料 80	介護療養病床 68
4	特定集中治療室管理料 22	一般病棟15対1入院基本料 89	有床診療所入院基本料 38	特殊疾患病棟入院料/入院管理料 32
5	脳卒中ケアユニット入院管理料 15	小児入院医療管理料 86		有床診療所療養病床入院基本料 17

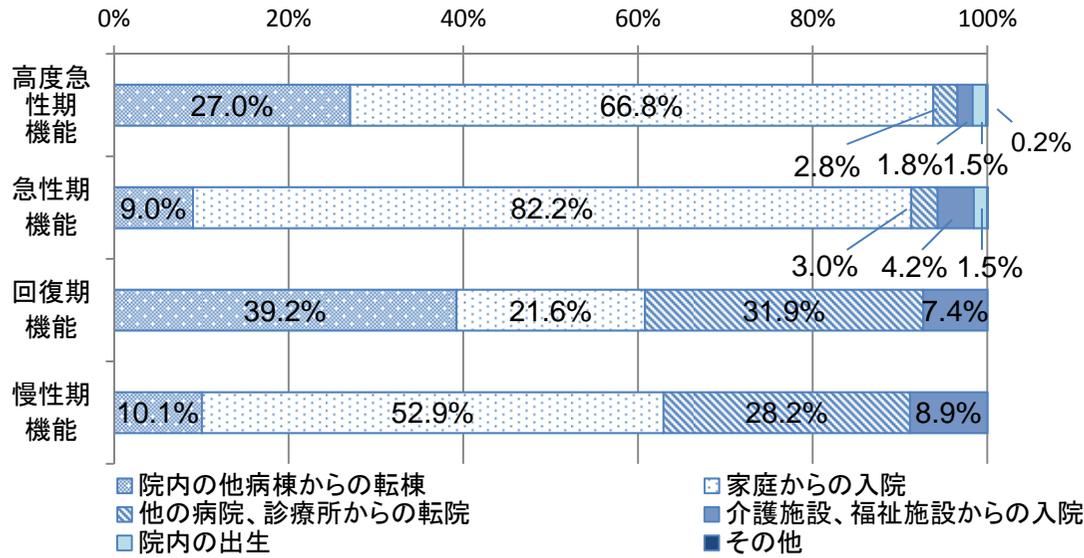
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



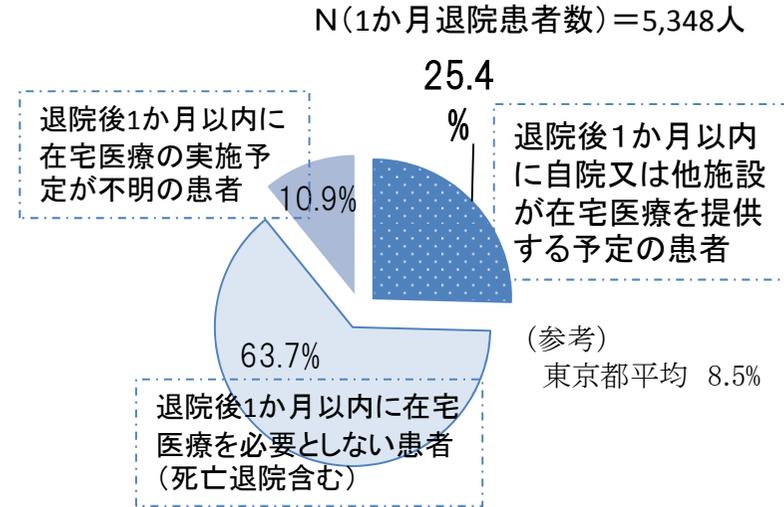
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

機能	平均在院日数(日)
高度急性期機能	8.9日
急性期機能	13.2日
回復期機能	64.5日
慢性期機能	79.8日

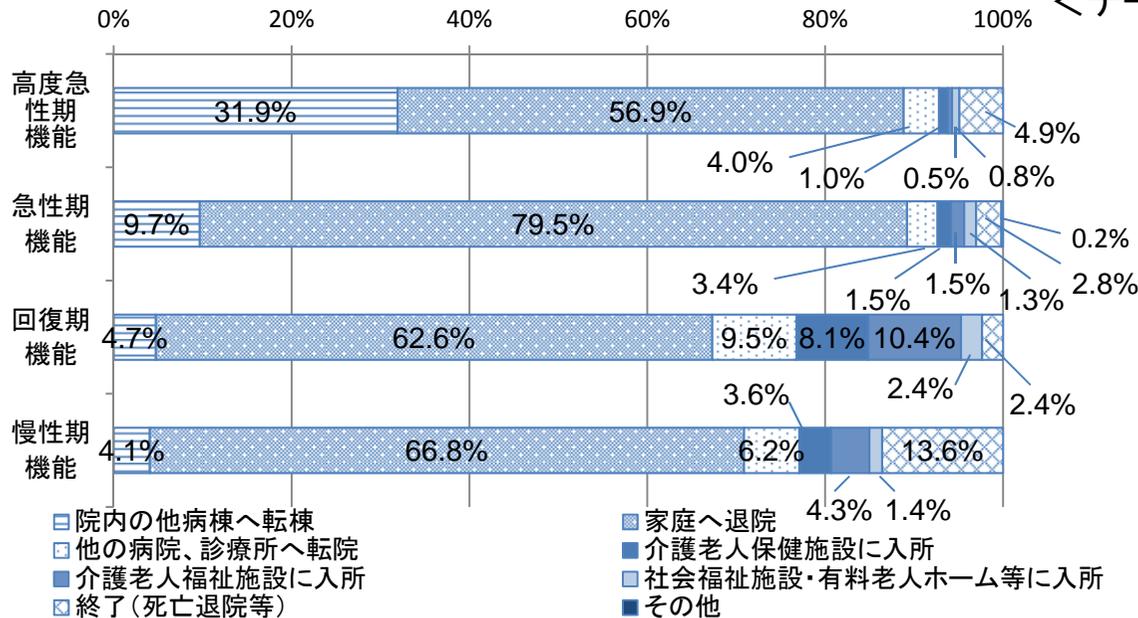
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所（病院）



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合（病院）



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所（病院）



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	3施設	21.4%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	8施設	57.1%
緊急時に対応する機能	6施設	42.9%
在宅医療の拠点としての機能	2施設	14.3%
終末期医療を担う機能	1施設	7.1%
いずれにも該当しない	2施設	14.3%

注 報告のあった14施設を集計。複数回答可。